

第2回 豊山町男女共同参画社会づくりプラン策定委員会議事録

1 開催日時 平成23年12月19日(月) 午後7時30分～午後8時30分

2 開催場所 豊山町役場 2階 会議室1

3 出席者

(1) 豊山町男女共同参画社会づくりプラン策定委員会委員

委員長：	とよやま女性の会 会長	白倉	栄子
委員：	とよやま女性の会 副会長	坪井	佐智子
	とよやま女性の会 副会長	谷崎	至子
	とよやま女性の会 書記	岡島	千衣子
	豊山町生活福祉部福祉課福祉・少子係 主査	四浦	かおり
	豊山町総務部総務課総務・防災係 主任	牧野	礼男
	豊山町生活福祉部福祉課高齢者・介護係 主事	森川	泰成
	公募	鈴木	陽子
	公募	西脇	和子
	愛知学泉大学現代マネジメント学部 准教授	村林	聖子

(2) 事務局

総務課長	安藤	光男
総務課 課長補佐	小川	徹也
総務課 企画財政・情報係 係長	高橋	公仁
総務課 企画財政・情報係 主任	水野	将徳

4 次第

(1) あいさつ

(2) 議題

1) 本町の男女共同参画施策の現況と改善点等について

2) 新計画の体系(案)について

(3) その他

次回の日程について

5 会議資料

・次第

・資料1 本町の男女共同参画施策の現況と改善点等について

・資料2 「とよやまレインボープラン(現計画)」の取組の状況について

・資料3 新計画の体系（案）について

6 議事内容（議題）

(1) あいさつ

- ・総務課長より開会のあいさつ
- ・会議資料の確認
- ・第1回策定委員会の議事録内容の確認依頼

(2) 議 題

1) 本町の男女共同参画施策の現況と改善点等について

【委員長】 お手元に配付してある次第に沿って議事を進行していく。まずは、前回の会議内容について確認を行う。

前回は、男女共同参画のこれまでの経緯について報告があった後、新計画の策定方法についてご確認いただいた。

策定方法として、新計画を第4次総合計画の重点戦略1である、「人」がキラリと輝くまちづくりの実現に資するような、本町の特性が出るような計画にすること、また、男女共同参画の視点を活用して、現在の町の事業を位置づけ、豊かなまちづくりにつながるような計画にすることが決まった。

当初の予定では、今回の会議において本町における男女共同に関係する事業について検討する予定であったが、そのような各論に入る前に、まずは全体の枠組みや体系について議論すべきと考え、本日の議題のようにさせていただいたので、ご了承いただきたい。

では、議題(1)「本町の男女共同参画施策の現況と改善点等」について、事務局より説明を求める。

【主任】 (資料1、2に基づき、本町の男女共同参画施策の現況と改善点等について説明)

【委員長】 ただいまの事務局の説明について、意見や質問はあるか。
特に、現況について、こうではないかという意見もあれば発言していただきたい。

【A委員】 問題点の記述の中に、時代の変化への対応が十分ではないとあるが、保

健センターや福祉課の取組は、この10年で大きく変わってきている。住民の暮らし方が、祖父母と同居する方が減ってきたり、仕事を持つ母親も増えてきたりしており、子どもを預けなくてはならない状況に合わせ、保育園も0才児から預かってもらえるようになった。

また、私も出席させていただいている、要保護児童対策の会議では、保健センターや保育園の園長先生などの連携がとれており、良い取組だと思う。

10年間で変化したことに対し、十分ではないが、ある程度は対応できているのではないかと。

【委員長】 時代の変化に対し、町でも、ある程度対応しているのではないかとこの意見があったが、福祉課の職員からは何か意見等はないか。

【B委員】 0歳児保育や要保護児童対策協議会のほかにも、ファミリー・サポート・センター事業を今年度から開始している。会員数は現在13名。町の制度として定着すれば、女性がもっと働きやすい環境ができてくるのではないかと考えている。

【委員長】 時代の変化への対応が十分ではないとの記述は、10年の間に町としての対応も変わってきているが、現状でとどまることなく、より良い制度にしていかなくてはならないという意味での記述であると思う

【A委員】 改善点の記述の中に、コンパクトな町域を活かした、密接な人間関係が住民の間に残っているとあるが、自治会に入らない方も増えてきている。10年前に比べると、希薄になりつつある部分もあるのではないかと。

【C委員】 確かに、自治会に加入される方の割合が減っている。新しく豊山町に転入された方が自治会に入らない傾向もあるが、意外に、古くから住んでいる方でも、自治会に入っていない方がいる。

自治会に加入していると、順番に組長などの役員がまわってくるが、高齢になると、組長の役目を果たせないからという理由から脱退する方がいるときいている。

担当課としても、問題意識をもって取り組んでいる。

【委員長】 問題意識を改善点へつなげ、絆を深めていきたい。

【C委員】 あるべき姿は、地域のつながりを確保していくことだと思う。

【委員長】 他に意見や質問はあるか。

【各委員】 (特になし)

- 【委員長】 町においても様々な対応をしていただいている。
- 私自身、まだ0歳児保育の制度がなかった時代に、町へお願いして、子どもを3歳児クラスに入れていただいたこともある。延長保育ももちろんなかった。その時代に比べると働きやすい環境は整ってきたと思う。しかし、まだ満足ではない点もあるので、もっと大勢の方が社会へ気持ちよく参加できる、そして、安心して暮らせるまちにしていきたいと思う。
- それでは、事務局より説明のあった、現況や改善点等を踏まえて、計画策定を進めていくことにする。

2) 新計画の体系（案）について

- 【委員長】 次に、議題（2）「新計画の体系（案）」について、事務局より説明を求める。
- 【係長】 （資料3に基づき、新計画の体系（案）について説明）
- 【委員長】 ただいまの事務局の説明について、意見や質問はあるか。
- 【A委員】 男女共同参画社会の理想は、男女共同参画社会という言葉を言わなくなる事なので、男とか女とかではなく、「人」を目標の中心とすることは良いと思う。
- 【委員長】 他に意見や質問はあるか。
- 【D委員】 男女共同参画社会計画などの個別計画を策定する場合、総合計画とは別個の計画となってしまうことが多いため、総合計画に結びつけることは、町の先進的な事例になるのではないかと思う。
- 個別計画は部局ごとに策定するため、事業がバラバラになっている自治体も多いので、総合計画の基づけることは良いと思う。
- 【委員長】 議題1で説明のあった、総合計画との連携が図られていないという問題点の改善につながるのではないかと思う。
- 【D委員】 先ほど自治会の話もあったが、例えば地域活動といった言葉のように、様々なキーワードが基本的施策の中にちりばめられているので、計画を立てやすいと思う。
- 基本的施策の言葉づかいは、今後、検討するという事でよいか。
- 【係長】 基本的施策の言葉づかいは、県の計画を基に事務局で修正した、現状案である。

この基本的施策の下に、現在ある豊山町の個別事業をあてはめていくので、その事業内容によってはよりよい表現が出てくると思う。

今後、皆さんにも議論していただき、必要があれば変更していく。

【委員長】 豊山町らしさを表現していく。

【C委員】 計画の期間についても、これから議論していくということによいか。現在の計画は10年であるが、総合計画の期間に合わせるというのも一つの考え方だと思うが。

【係長】 現在のところは、平成24年度から平成33年度までの10年間を予定している。

【課長補佐】 現計画の計画期間は10年であるため、今のところは、10年間を予定している。

しかし、現計画の反省を踏まえると、10年間は長いという考えもある。例えば、10年前に使われていたジェンダーという言葉は、今では全く使われなくなったという局面もある。

基本的には、10年をスタンスとしながら、総合計画と同様に5年後に見直しを図っていきたいと考えている。

【委員長】 議題1で説明のあった、3つの問題点を踏まえた、体系となっていると思う。

他に意見や質問はあるか。

【各委員】 (特になし)

【委員長】 高齢者が増えてきている中で、高齢者・介護系の職員として、何か意見はないか。

【E委員】 第1回の策定委員会で、町長からも話があったが、高齢化率が高くなってきている。来年度は20%を超えることを予想して、現在、計画の策定にあたっているところである。

今後は、高齢者が高齢者の介護を行う、老老介護のケースも多くなってくる。高齢者福祉の担当としては、高齢化の進展にともなって、新たな問題が発生してくるので、このような点を基本的施策の中でうたっていければと思う。

【委員長】 近い将来に、私たちも同じ立場になるので、重点目標の「Ⅱ. 健康で笑顔あふれるまちづくり」の中の基本的施策にあがってくるのではないか。

【D委員】 高齢者福祉であれば、重点目標「Ⅰ. すべての人が暮らしやすいまちづ

くり」の基本的施策「3. 様々な困難を抱える人々への支援」に該当してくると思う。

【D 委員】 国の計画との関係で言うと、新しいキーワードとして「防災」という言葉があがってきている。これを、地域活動の施策中で、結びつけていければと思う。

【委員長】 今年は特に防災について、考えさせられる年であった。

【C 委員】 議会でも意見があったが、女性に配慮した避難所運営など、女性ならではの見解を十分に踏まえた計画にしていきたいと思う。

【委員長】 他に意見や質問はあるか。

【A 委員】 とよやま女性の会でも、10年前は会報で必ず男女共同参画の視点からの記事載せていた。1年3回ではあるが、他の行政機関からも好評であった。

男女共同参画の活動をすることを目的に女性の会は存在しているはず。町から補助金をもらっているので、男女共同参画の視点を意識した催しを行っていただきたい。豊山町には、女性団体がとよやま女性の会しかないので、頑張ってください。

【委員長】 男女共同参画という言葉は表には出ていないが、社会に目を向けて、絆を深めることを目的に活動は行っている。まずは、女性同士、何でも話すことができる環境づくりを目指している。

【委員長】 他に意見や質問はあるか。

せっかくなので、小さな声が大きく響くように意見をあげていただきたい。

【D 委員】 新計画の体系（案）からすると、この基本的施策はこの部署が担当課ということにはならないと思う。また、それが豊山町らしさになってくると思う。男女共同参画事業は、担当課を限定するものではないので、是非、豊山町らしい連携を活かして欲しい。

【委員長】 他に意見や質問はあるか。

【各委員】 （特になし）

【委員長】 それでは、事務局の提案に賛同ということでよろしいか。

【各委員】 異議なし。

【委員長】 異議なしの声があったので、この体系に沿って、男女共同参画事業の見直し等を行っていくことにする。

以上で、本日の協議事項については、すべて終了したので、議題の審議を終わらせていただく。

(3) その他

次回の日程について

【課長補佐】 本日の会議で、皆様から現計画の問題点や改善点について、意見承った。また、新計画の体系についても承認いただいた。意見を踏まえながら、新計画の体系に沿って、新計画の基本的施策の方向性や主要事業の実施内容・取組方法について、事務局で原案として取りまとめ、第3回の策定委員会で提案し、皆様に議論していただきたいと考えている。

【総務課長】 それでは、以上をもって、第2回の策定委員会を閉会します。ご協力ありがとうございました。

(次回の日程)

平成24年1月16日(月) 午後7時30分～